

学校法人ISI学園 専門学校長野ビジネス外語カレッジ

2023年度 シラバス

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	日本語資格対策Ⅱ		（ NKT14G ）
講義名（コード）	日本語資格対策Ⅱ C		（ NKT14GC ）
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1学年
対象コース	観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	五味 喜代幸	時間数	30
成績評価教員	五味 喜代幸	講義期間	秋学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	通常のビジネス会話のみならず、相手の心情を理解し適切な言い回しをすることでコミュニケーション力を高めることができる。
全体の内容と概要	前半：読解問題を解くためのポイント、新出語彙を学び、実戦問題を解く。 後半：聴解問題を解くためのスキルを学び、様々な形式の聴解問題を解き、解説を加える。
授業時間外の学修	読解問題の新出語彙の意味調べ・既習事項の復習
履修上の注意事項等	JLPT合格に向けて意欲的に授業に取り組むこと

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率× 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	下線部の意味を問う形が理解できる	読解：下線部と下線部の文をよく見て内容をつかむ練習をする 聴解：課題理解－条件に合う情報を聞き取る
2	「なぜ」「どうして」など理由を問う形が理解できる	読解：理由を問う問題から内容をつかむ練習をする 聴解：課題理解－条件を聞き取って整理する
3	「なぜ」「どうして」など理由を問う形が理解できる	読解：理由を問う実践問題を解く練習をする 聴解：「ポイント理解」のスキルを学ぶ
4	本文の「具体的な例」を選んで答えることができる	読解：例を問う問題を解く練習をする 聴解：ポイント理解－話し手の意図から必要な情報を判断する
5	与えられた文章の全体的な内容をつかむことができる	読解：生活や仕事の中でよく見る文章を読み全体をつかむ練習をする 聴解：ポイント理解－言い換えに注意する
6	試験の傾向がわかる	模擬試験
7	試験の傾向がわかる	模擬試験 F B
8	広告の文章から必要な情報を探し出すことができる	読解：広告の文章を読み必要な情報を探し出す練習をする 聴解：ポイント理解－多くの情報の中から必要な情報を拾う
9	お知らせの文章から必要な情報を探し出すことができる	読解：お知らせの文章を読み必要な情報を探し出す練習をする 聴解：「概要理解」のスキルを学ぶ
10	説明書きの文章から必要な情報を探し出すことができる	読解：説明書きの文章を読み必要な情報を探し出す練習をする 聴解：概要理解－例と例をまとめる言葉を聞き分けて、話題をつかむ
11	表・リストから必要な情報を探し出すことができる	読解：表・リストを読み必要な情報を探し出す練習をする 聴解：概要理解－キーワードを関連付けて、話の構造をつかむ
12	読解 N 2、聴解 N 2 で学んだことを振り返ってみることができる	一年間の振り返りから弱点を見つけ出し強化につなげる
13	後期のまとめと解説	試験前のまとめ
14	後期のまとめと解説	期末試験
15	後期のまとめと解説	期末試験のフィードバックを通じて前期勉強したことの確認をする。

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	新完全マスター読解N2	新完全マスター聴解N2
参考文献・資料等		
備考		